



地球市民学習

世界に目を向けよう
～今、私たちにできること～

出逢い、つながり、未来へ
WE ARE PARTNERS!!

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



団体紹介

- 国籍や年齢、社会的立場をこえ、共に未来を創る仲間として地球市民学習を柱に活動
- 小学生から92才の仲間がOne Team（家族的な関わり）で活動
 - All for One One for All
（互いをrespect）
 - グローバルシチズンとしての“居場所”

きっかけ

1992年夏

ネパールでのストリートチルドレンを知る



子ども達のまなざし 心の動き ➡ 心を寄せる



子ども達の求めている学び？

*知りたいたい → 心を寄せる → 伝えたい → 活動したい

「教育」とは

“共育” “協育” “響育” “今日育”

* education : 可能性を引き出すこと

地球市民学習（国籍や年齢、社会的立場をこころえ“共）に未
来を創る分！と世界の学校教養から社会教育と探究生涯学習へ
地来にから実践！と学校教養から社会教育と探究生涯学習へ

学んで伝えるボランティア

具体的な活動

- 定例学習会（第1&第3土曜日 2020年からはZOOMで開催）
テーマを持ち寄り意見交流→視点を広げ、気づきや学びの共有
- イベント（夏休み 春休みなど）
学んで伝えるボランティア 子どもたちの思いを地域に発信
Think globally, Act locally
- 出前授業（小、中、高、大、子ども食堂、児童館、公民館など）
“共に今を生き、共に未来をつくる仲間として”
- 被災地との交流（石巻寺子屋 加須ふれあいセンター）
心を寄せ、未来を紡ぐ
- 未来の先生展（フォーラム）DEARなどで実践発表
子どもの視点のSDGs & アイデアあふれる実践の発表
- JICA埼玉さんとの協働 “伝え隊、学び隊、語り隊～共に未来を創る仲間として～”









“多文化共生”とは？

- 学校、家庭、地域、国、世界など、いろいろな人が自分以外の人に心を寄せ、“人”として尊重し合い、共に生活し&生きているコミュニティー
- 人（コミュニティー）が作った“枠”（国籍、年齢、性別、社会的立場など、障がいがある、認知症がある、特性がある、など、）をこえ、“人”として丸ごと受け入れ（理解して）“人”としての共通のところは同じなのであるから、そこを源としてコミュニティーを作っていく。
- 基本は “respect” の文化 * understandの意味
- 「地球市民学習」（の視点での生活&生き方）そのもの



地球市民学習

世界に目を向けよう
～今、私たちにできること～

出逢い、つながり、未来へ WE ARE PARTNERS!!

〈活動目的〉

- 世界に目を向け、自己と世界との関わりについて考えるきっかけづくり。
- より良い社会づくり、未来づくりのために、今、自分たちの出来ることを考え、実践する。

ご静聴ありがとうございました！
Thank you for listening !

4 質の高い教育を
みんなに



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



地球市民学習とは“生き方”？

“生きる”とは？

**“自分の心の声に
耳を傾ける”**

“人生の羅針盤”

出逢い、つながり、未来へ
We Are Partners!!

“生き方” との出逢い

“思い” のつながり

“未来作り” への一歩

**SDG S は
自分も世界も幸せになる
& する地球のクラス目標！！**

“教室” は

“共室”

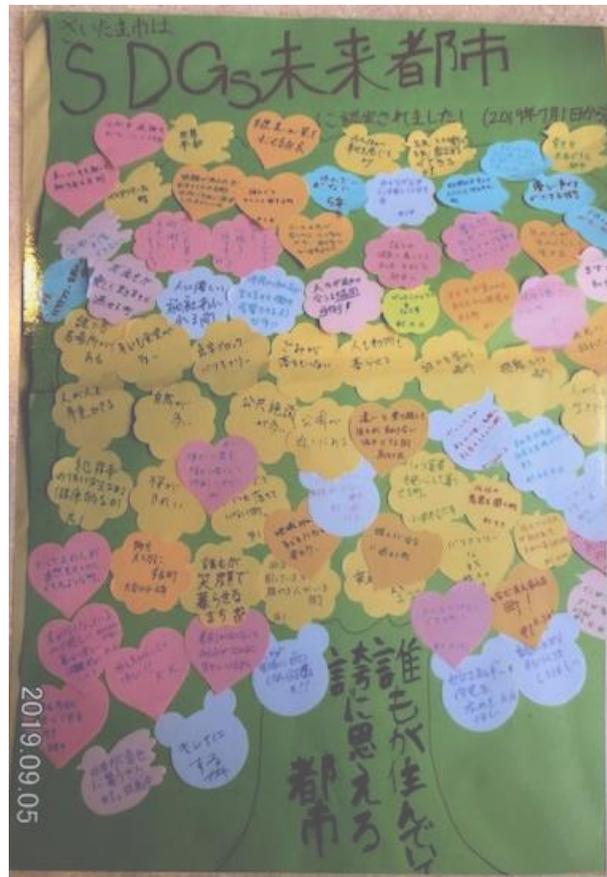
“響室”

“協室”

“今日室”

☀️ 夏のイベントで考えてもらいました ☀️

SDGs未来都市“誰もが住んでいて誇りに思える都市”ってどんなまち？



そのためにしたいこと！出来ること！ ⇒ 来場者の意見をさいたま市に届けました！

